

ぴとろ見聞録 VOL.1

ぴとろとゆかりがある場所を紹介していきます。



大橋通りを抜けると、そこは鏡川だった。

私が川端康成だったならば、そんな書き出しで始めたい歌がある。

みんなが大好きな「ひろめ市場」を背にし、大橋通をまっすぐ進む。

まっすぐに、まっすぐに。

アーケードを越え、交差点を越え、なお、真つすぐに進む。

坂道が上がると、「これは、はりまや橋か？」と見間違えるほど、赤より朱い橋。

そう、天神大橋だ。

そして、その下には、鏡川。

水陸空も無限大に広がりそうな雄大な鏡川。

ふと、対岸に目を向けると、今回の目的地がある。

「天神橋パーキング」

夢源風人が毎年お世話になっている駐車場。

みんなと夢と想いを乗せて走る、ぴとろバスの駐車場。

一昔前は、地方車の組み立てをしていた駐車場。

よさこい祭り前には、國士舞双やa.o.の練習が行われる駐車場。

高知にお立ち寄りの際はぜひ。

注意・天神大橋を越えたら右に曲がるんだ、左はあかん。そこは楽園や。